



ひのたん

日の里学園通信

平成30年度 第8号 10月19日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博

「小中一貫教育」は「小小一貫教育」から ～5年生の「セカンドスクール」、6年生の「修学旅行」～

日の里学園の小中一貫教育は今年で13年目を迎えています。そして、当初から、1学期の「歓迎遠足」、2学期の「クリーン作戦」、3学期の「9年生を送る会」の小中交流行事に加えて、小学校間でも、5年生の「セカンドスクール」や6年生の「修学旅行」で交流活動を行っています。この「小小一貫教育」が日の里学園の特徴でもあります。

本年度、5年生の「セカンドスクール」は9月26～28日にグローバルアリーナで行われました。東小と西小の5年生の児童たちは、2泊3日の集団宿泊体験の中で、混合班の様々な活動を行い絆を築いていきました。写真①は夕食のカレー作りで協力し合っている場面、写真②はタグラグビー大会で一生懸命にプレーしている場面です。



6年生の長崎への「修学旅行」は、10月11～12日に行われました。東小と西小の6年生は毎年、長崎の平和公園に千羽鶴を届けています。この千羽鶴は、両校の全児童で心を込めて折った鶴と、地域の方々に折っていただいた鶴を一緒にして、平和への願いを込めて作製しています。写真③は「CoCokara ひのさと」で、折り鶴を折っていただくようお願いしている場面です。写真④は「日の里コミセン」で、折っていただいた鶴を受け取っている場面です。写真⑤は修学旅行で、長崎平和公園の「折鶴の塔」に千羽鶴を奉納している場面です。



修学旅行では、毎年、東小と西小の6年生が、写真⑥のように合同グループになって一緒に長崎市内を回り、絆を深めています。

日の里学園では、このようにして、小学生の時から両小学校で絆を築き、深め合い、7年生からの中学校生活につないでいます。

